

編集後記

民主党政権になり、教育や医療に風穴が開いたように感じられる。同党が主張する医師・看護師などの増員、医療機関の入院による診療報酬の増額、障害者自立支援法の廃止が実現すれば、精神科医療もずいぶんやりやすくなるかもしれない。医学部定員を 1.5 倍にしても教員数が変わらなければ現場の負担だけが増えるといった批判は確かにあるが、新政権のもと医療観察法がどうなるのかについては、同党のマニフェストには記載がないようなのではっきりしない。法成立の過程では、政府案は安易な精神鑑定、刑事施設での精神医療の不備、地域における精神保健福祉体制の未整備などの問題を抱え、かえって精神障害者への差別・偏見を助長する危険性があるとして反対していた。その後の動きはわからないが、本誌「巻頭言」で松原先生が指摘されているような問題点を議論する絶好の機会かもしれない。

原著論文を中心に編集するというのが本誌の理念である。本号はそれなりの体裁を保つことができ、投稿していただける研究者に感謝したい。本号では高齢者の認知症や抑うつ、統合失調症、全般性社交不安障害、発達障害などについて、いずれも臨床に密着した問題が扱われている。テーマは薬物関連(野澤・眞鍋・高見・根本各氏)、心理社会的治療(永田・森各氏)、評価(臺・村山・安田各氏)、神経病理(藤城氏)で、この面でも特に偏りがなく、なんとか責任を果たせているという思いである。まとめられた各氏に感謝したい。

土居健郎先生の追悼文は、中井久夫先生にお書きいただいた。尊敬と親密さにあふれ、お2人の関係を面前に見るようである。これほど身近から土居先生の公と私を表現された方はないのではないかな。土居先生は 1969 年から 1974 年に本誌の編集委員をされた。当時のメンバーには西尾友三郎、加藤正明、臺 弘、新福尚武、江副勉、保崎秀夫、上出弘之、野上芳美、島蘭安雄、後藤彰夫、笠原嘉、荻野恒一(以上、敬称略)ら錚々たる方々がおられた。中井先生の追悼文にもあるが、1970 年代に統合失調症を考えていたのは日本だけという時代であった。東京大学出版会の「分裂病の精神病理」シリーズの企画は土居先生が立てられたという。統合失調症の臨床を大事にする精神科の風土は今も薄れておらず、本誌もいくつかのオリジナル論文を取り上げている。この伝統は今後とも守っていききたいものである。(S.I.)

■ 編集委員

飯森眞喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第 51 巻 第 12 号)

2009 年 12 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2009 年年きめ予約購読料 30,600 円・電子ジャーナル閲覧オプション付 39,800 円 (税込, 送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎
Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。